

保護者向けアンケート集計

※ご意見は原則として原文のまま掲載しています。

ただし、個人情報の保護、その他公表に適さない内容を含むものについては掲載しておりません。

アンケート結果

保護者の皆様へのアンケートはこちら

Q-1：お子さまの年齢を教えてください。

0 さい～2 さい	2
3 さい～6 さい（小学校に通っていない）	4
小学 1 ～ 3 年生	2
小学 4 ～ 6 年生	2
中学生	0
高校生以上	2

Q-2：保護者の方の年齢層を教えてください。

2 0 代	1
3 0 代	4
4 0 代	5
5 0 代以上	2
回答しない	0

Q-3：市のこどもに関する取組みについてどう感じていますか。

とてもよいと思う	1
まあよいと思う	5
あまりよくないと思う	3
わからない	3

Q-4：市に今後、特に力をいれてほしいことは何ですか。

こどもの居場所・遊び	9
学びの機会	3
相談・支援体制	4
情報発信	4
経済的支援	7

Q-5 : ご意見があればご記入ください。

こどもの権利を主体として尊重する新方針に、保護者として深く共感します。
以下の4点について、可能な範囲でご検討いただければ幸いです。

1. 学びの機会の保障（場所から内容へ）

不登校や特性（私の娘は場面緘黙で支援学級に在籍しています）により教室に入れない子も、意欲があれば学べる仕組みを整えていただけたらありがたいです。
オンライン授業やアーカイブ配信の活用、および自宅学習の成果を適切に評価する制度などを、今の環境でできる範囲からでもお願いしたいです。

2. 権利を学ぶ場の創出

こども自身が権利を知る機会を学校で作ってほしいです。
先生方の負担を増やさめよう、外部講師を招く予算を確保するなど、専門家の力を借りる形が理想的だと考えます。

3. 教育への重点投資

予算配分へのご尽力には感謝してます。
教育分野への配分を、今よりもう少し手厚くしていただけたらと思います。

4. 新設校でのフルインクルーシブな環境整備

学校統廃合と新設の機会を活かし、まずはハード面（施設）からバリアフリーかつフルインクルーシブな環境の検討をお願いしたいです。
障害の有無や世代を超えて地域の人も共に学べる空間は、こどもの権利保障の強固な土台になるのではないのでしょうか。

医療費を18歳までに引き上げてほしいです。

だれひとり取り残さないと掲げられていますが、不登校の子どもたちの支援が取り残されているように感じます。情報が少ない、学校の理解が感じられない等もっと子どもがどんな状況であろうと学びや生活をその子らしく生きることができる中間市になってほしいと願っています。

アンケートプリントのバーコード読み込めませんでした。

医療費を水巻などのように無料にしていきたいです。
引越しをする際に中間市より水巻のほうがいいとママ友達と話が出ます。

子育てサロン場所が変わり開催できない日が増えました！

保育園兄弟で同じ場所に行けません。

学校歩いて1時間かかります。

今後場所が変わるなどした際の通学方法をしっかり考えてほしい

みんなが使えるバスケットゴールを作って欲しい
